

平成29年度 あまのくらし部会 実施報告

平成30年5月25日(金)
中央公民館

1

あまのくらし部会の役割

障害のある人の地域生活を支援するための課題等
について協議します。

あまのくらし部会では、地域のネットワークづくり、親
の高齢化に伴う障がいのある人の自立生活や相談支
援体制の整備などについて取り組んでいます。

2

今年度の取り組み

地域での自立生活を考える

- 地域の「つどい場」見学
- 「地域共生館ふれぼの」見学

あまのくらし部会フォーラムの開催

3

部会の開催と協議内容

- ・ 尼崎市自立支援協議会 全体会(平成29年5月19日)
平成29年度 あまのくらし部会 実施報告
- ・ 第1回(平成29年5月30日)
部会長の選任・副部会長の指名
昨年度の取り組みと、今年度の取り組みについて
- ・ 第2回(平成29年6月27日)
熊本支援報告
昨年度の取り組みと、今年度の取り組みについて
- ・ 第3回(平成29年7月25日)
今年度の取り組みについて

4

部会の開催と協議内容

- ・第4回(平成29年8月29日)
地域の「つどい場」見学の報告
「あまのくらし部会フォーラム」に向けて
- ・第5回(平成29年9月26日)
地域の「つどい場」見学の報告
「あまのくらし部会フォーラム」に向けて
- ・第6回(平成29年10月31日)
地域の「つどい場」見学の報告
「あまのくらし部会フォーラム」に向けて
- ・あまのくらし部会フォーラム開催(平成29年11月28日)

5

部会の開催と協議内容

- ・第7回(平成29年12月19日)
「あまのくらし部会フォーラム」の振り返り
- ・第8回(平成30年1月30日)
「あまのくらし部会フォーラム」の振り返り
今年度の振り返りと来年度に向けて
- ・第9回(平成30年2月27日)
「地域共生館ふれぼの」見学
- ・第10回(平成30年3月20日)
「地域共生館ふれぼの」見学振り返り
来年度に向けて

6

地域の「つどい場」見学

- ・住民同士の交流の場として各地域で行われているさまざまな「つどい場」に部会メンバーが訪問し、一緒にお茶を飲みながらおしゃべりを楽しんだ。
- ・子ども食堂では単に食事を提供するだけでなく、トランプや折り紙など楽しい催し物を開催し、誰もが行きたくなる居場所づくりに工夫されていた。
- ・普段はほとんど外出しない人が外に出る機会や、高齢者と子どもの交流の場にもなっている。
- ・ふれあい喫茶では喫茶以外にも手芸や小物づくりなど、熱心に活動されている方が多かった。
- ・いつも参加する人が来られなかった時には、自宅を訪問するなど安否確認まで行っているところがあった。
- ・「障がいのある方もいつでも来てください」と言っていた。

7

地域の「つどい場」見学先

地区	グループ名	場 所
中央	東難波西老人給食クラブ	東難波社会福祉連合会館
小田	長洲ふれあい喫茶	長洲連合会館
大庄	元浜地区ふれあい喫茶	元浜南会館
立花	生島南センチュリー	生島南センチュリー
武庫	子ども食堂(地域食堂)「晴れるや」	特別養護老人ホーム博寿苑5階
	ふれあい喫茶「ほっとカフェ」	武庫之荘北会館
園田	猪名寺ほっとサロン	喫茶ハニー

8

これまでのフォーラム

2013年度(平成25年度) 障害者地域支援会議

第1部 講演会「震災時におけるそれぞれの役割」

第2部 6地区に分かれての交流会

2014年度(平成26年度) あまのくらし部会フォーラム

第1部 研修会「地域での自立生活を支える～障害別自立生活の現状と問題点～」

第2部 6地区に分かれての交流会

9

これまでのフォーラム

2015年度(平成27年度) あまのくらし部会フォーラム

「障害者の地域での自立生活を考える～地域のみんなでつながろう～」

第1部 障害者当事者・家族より

「地域での障害者の生活について」

地域包括支援センター職員等より

「地域での活動について」

第2部 参加者による話し合い「つながりを求めて」

2016年度(平成28年度) あまのくらし部会フォーラム

「障害者の地域での自立生活を考える

～災害時に生きる地域でのささえ愛たすけ愛～」

障害者当事者・家族より「災害時の地域の連携について」

参加者による話し合い「地域でのささえ愛、たすけ愛」

10

あまのくらし部会フォーラム

「障害者の自立生活を考える～広げよう小さな輪から大きな和～」

日時:平成29年11月28日(火)13:00～15:30

場所:尼崎市立中央公民館(大ホール・小ホール・31号室)

参加者:122名

内容:第1部 全体会(地域との顔の見える関係づくりについて)

「福成会塚口福成園と旭園住宅福祉協会」 塚口福成園

「地域がつながって」 コープサークルポコポコ・子ども食堂支援隊

「グループホームと地域の交流事例について」 福祉心話会

「カフェアルク」 ヴィリール

第2部 参加者による話し合い(6地区に分かれて)

11

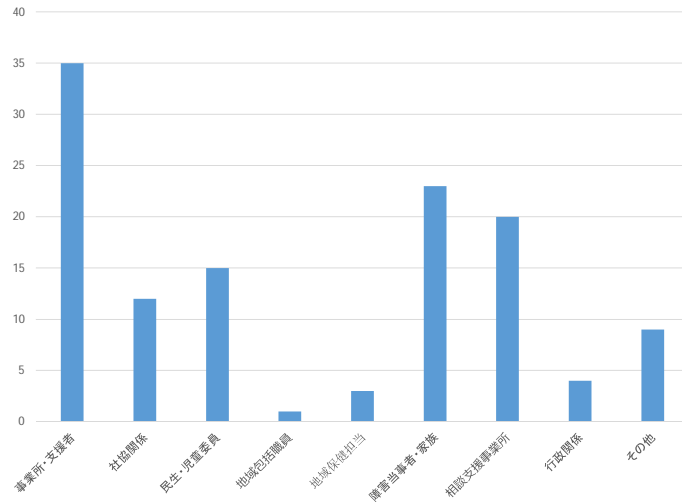
あまのくらし部会フォーラム第1部の様子



12

フォーラム参加者内訳

業種	人数
事業所・支援者	35
社協関係	12
民生・児童委員	15
地域包括職員	1
地域保健担当	3
障害当事者・家族	23
相談支援事業所	20
行政関係	4
その他	9
合計	122



13

フォーラム参加者内訳

業種	園田	大庄	中央	武庫	立花	小田	その他	合計
事業所・支援者	7	4	1	5	11	7	0	35
社協関係	2	2	2	2	2	2	0	12
民生・児童委員	1	0	0	2	7	5	0	15
地域包括職員	0	0	0	1	0	0	0	1
地域保健担当	0	0	1	1	1	0	0	3
障害当事者・家族	2	6	1	11	3	0	0	23
相談支援事業所	4	1	7	4	2	2	0	20
行政	0	0	0	0	0	1	3	4
その他	2	0	1	1	2	3	0	9
合計	18	13	13	27	28	20	3	122

14

アンケートより

< 第1部 全体会 >

- ・事業所の具体的な地域との関係づくりの事例が聞けて良かった。
- ・4つの事例がそれぞれに違うケースで良かった。

< 第2部 参加者による話し合い >

- ・それぞれの役割の方が集まり情報を広げることができた。
- ・今まで知らなかった地域資源を知ることができた。
- ・回数を重ねていく事の大切さを感じた。
- ・限られた時間の中で、課題に対して検討までできなかったのも、テーマを基に話し合ってみてはどうか。

< 自立支援協議会に期待する事 >

- ・意見交換の場の継続。
- ・地域の人に向けて障がいについて学ぶ場を作って欲しい。
- ・グループホームの数を増やして欲しい。など

15

部会の振り返りより

< 第1部 全体会 >

- ・様々な立場の人から、様々な障がいの方の地域活動について話を聞くことが出来た。
- ・参加者からの質疑応答もあれば良かった。
- ・第2部にも発表者が参加してくれたので話が深まった。

< 第2部 参加者による話し合い >

- ・6地区でそれぞれ地域性のある課題があった。
- ・事業所が自治会に入ること、地域の防災訓練、地域のイベントからのつながり、障がいや高齢の枠を飛び越えた連携、地域との関係を持つことができない人へのアプローチ、地域資源の活用に関する話など様々な話があった。

16

「地域共生館 ふれぼの」見学



日時:平成30年2月27日(火)13:30~15:30

場所:西宮市中前田町

参加者:18名

内容: 施設内見学(1~4F)
ふれぼのカフェ・地域活動センターふれぼの
フリースペース・自立生活準備室・屋上など

質疑応答(多目的ホールにて)

17

「地域共生館 ふれぼの」概要

・「ふれぼの」は西宮市社会福祉協議会が目標とする「みんなで創り出す共生のまちづくり」をすすめるための拠点館。

まじくるつどい場、みんなの居場所

子どもから高齢者、障害のある人、ボランティアなど多種多様な人がつながる場

共生のまちづくり研究・研修所

誰もが主体者として生きる'共生社会'について学び合い、活動できる場

なんでもやります地域活動拠点

障害の重い人たちが地域での役割を果たしながら自己実現する場

自立生活準備室

障害のある人が町の一員として自分らしく暮らしていくための準備の場

あんしん福祉避難所

災害時避難所としても機能する場

18

地域共生館「ふれぼの」見学感想

- ・障がい者だけでなく、子ども、高齢者、認知症の方等地域の人たちの居場所作りが成功しているようだ。
- ・「障がい者 = される側」という事ではなく、子どもと利用者お互いにメリットがあり、支えあう関係を作っている(子どもの見守りを利用者が行っていることになっている)。
- ・「その人がどういう生活がしたいのか」を大切にしている。
- ・自立生活準備室のようなところで自立のお試しが出来れば、地域移行がスムーズになる。
- ・尼崎で何が出来るかを考えていきたい。
- ・新たに「共生型サービス」がスタートする。ふれぼののように開けたサロンを自然な感じで出来ればと思う。

19

1年を振り返って

- ・あまのくらし部会フォーラムの開催を継続する。
- ・地域での顔の見える関係づくりについて継続して考えていく。
- ・障がい当事者の声を一番に考えていきたい。
- ・若い世代の障がいの方の声も聴きたい。
- ・災害など特別な事だけでなく、日常的な事について、「毎日を安心して穏やかに過ごせる」事について考えたい(様々な障がいの方の日々の困りごとを聴きたい)。
- ・部会から外に出て、当事者の集まりなどに参加してワーキングするのはどうか。
- ・あまのくらし部会の取り組みをフォーラムで発表できないか。

20